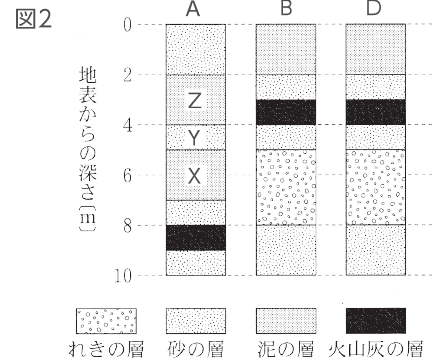
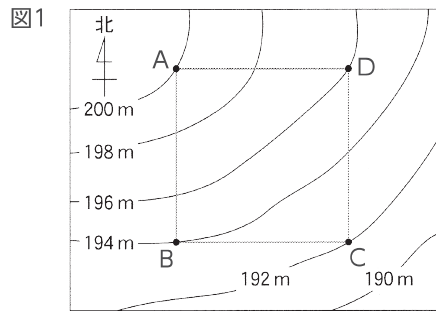


第 三 問 図1の地図に示したA～Dの4地点でボーリング調査を行いました。図2は、A、B、D地点で採取したボーリング資料を使って作成した柱状図です。この地域では、断層や地層の曲がりは見られず、地層は、南西の方向が低くなるように一定の角度で傾いています。また、各地点で見られる火山灰の層は同一のものです。なお、地図上でA～Dの各地点を結んだ図形は正方形で、B地点から見たA地点は真北の方向にあります。あとの1～5の問いに答えなさい。



- 図2のYの層からピカリアの化石が見つかりました。この地層が堆積した年代として、最も適切なものを、次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。
ア 古生代 イ 中生代 ウ 新生代
- 1のように、地層の堆積した年代を知ることができる化石を何というか、答えなさい。
- X、Y、Zの層が堆積する間、堆積場所の大地はどのように変化したと考えられますか。最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
ア 隆起し続けた。 イ 沈降し続けた。
ウ 隆起してから沈降した。 エ 沈降してから隆起した。
- 地層が南北方向と東西方向について、それぞれ南、西が低くなるように傾いていることについて述べた次の文章の内容が正しくなるように、①のア、イ、②のウ、エからそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

<南北方向>

AとBにおいて、「火山灰の層の地表からの深さ」を比較すると、AはBよりも5 m 深いが、「地表の標高」はAがBよりも6 m 高いので、「火山灰の層の標高」はAがBよりも①(ア 1 イ 11) m 高い。よって、地層は南が低くなるように傾いている。

<東西方向>

AとDにおいて、「地表の標高」から「火山灰の層の地表からの深さ」を差し引くことで、それぞれの火山灰の層の標高を求めると、Aが191～192 m、Dが②(ウ 192～193 エ 193～194) m となる。よって、地層は西が低くなるように傾いている。

- C地点でボーリング調査をすると、火山灰の層はどこにありますか。解答用紙の図に火山灰の層を黒く塗りつぶして示しなさい。